



有限会社新家青果

守ろう、未来の子どもたち!!



新家青果は、淡路島を拠点に国産玉葱の卸売り販売を中心に行っている会社です。
 南あわじ市と小野市には大型冷蔵施設があり、全国の玉葱を仕入れ冷蔵保管することが可能です。
 本社工場では貯蔵した玉ねぎを、小分け梱包また一次加工し全国のスーパー・生協・業務用加工業者等への販売を行なっています。
 また自社で、玉葱の有機栽培にも力を入れており、『淡路島産有機栽培玉ねぎ』として流通している約6割を新家青果で栽培し、『淡路島産玉ねぎ』のブランディングにも取り組んでいます。

◇基本情報
 【所在地】兵庫県洲本市五色町鮎原中邑1005
 【代表者】新家 春輝
 【資本金】5,500万円(2023/3月時点)
 【売上高】119,000万円(2022年度実績)
 【従業員数】112人(2023/3月時点)
 【HP】www.shinkeseika.co.jp/
 【問い合わせ先】
 TEL 0799-32-0024
 E-Mail info@shinkeseika.co.jp



太陽光発電

ここがスゴイ フードマイレージが抑えられた玉葱

南あわじ事業所の大型冷蔵庫(玉ねぎ貯蔵量2,500t)に貯蔵された玉葱は、熱効率・断熱性の性能が高い冷蔵庫で保管され、また電気量の50%以上を賄っている太陽光発電を取り入れることで、CO2排出量が半以下に抑えられている玉葱といえます。



オーガニック、G-GAP

ここがスゴイ 淡路島産玉葱W取得は自社だけ



日本国内でもオーガニック認証とGLOBALG.A.P.(グローバルギャップ)認証をダブル取得している企業は数社しかなく中でも玉葱でダブル取得しているのは北海道に数社と新家青果だけです。そして、淡路玉葱というブランド力をたすと日本で1番の玉葱だと自負しています。

Q&A


SDGsを取組みはじめたきっかけ
 地球温暖化で、この15年間は経験したことのないことが多く起こっており、淡路島の玉ねぎも品質が落ちてきている。この環境の変化へ対応するために、原点に戻り土作りをしていかないといけない。

社風、社内の雰囲気、会社の魅力
 仕事に対しては自由に考えることができ任せてくれる。また社員とパート・アルバイト間の風通しがよく、身近で意見も言いやすい。みんなで考え、現場をより良くしていこうという雰囲気で仕事ができる。

仕事のやりがい
 今までのやり方に囚われず、各社員に自由に考えさせてもらえるので、成功や失敗したことを実感することができる。行動する人としていない人が全て見える環境となっているので、労力はかかるが成果も見える。

目指す会社像、今後の事業展開
 淡路島の農業モデルを構築し、全国へ世界へ展開し、最終的には水が少ない国においても農業モデルを伝え飢餓を無くす活動の一翼を担っていきたい。


代表者からのメッセージ



代表取締役 新家 春輝

私が23才の時(西暦2000年)、淡路島玉葱の生産量は30年前から比べると50%減少していました。
 淡路島の玉葱を守りたい思いで、土づくりが根源にある有機栽培や、環境や人にダメージを与えないG-GAPという世界基準の農業に取り組んできました。
 この考えこそがまさにSDGsと言う世界規模で採択された考えそのものでした。
 私の最終目標は、世界中の飢餓に苦しむ国に『地球にやさしく儲かる農業』を伝え飢餓で苦しむ子供達を守る事です。次の世代の皆さんも興味を持ち、学び、その次の世代へバトンを繋いで下さい。

先輩社員の声



小野事業所 工場長 箱根 昌佳

私の職場は、幅広い年齢層の多くのなかまが働いており、いつも活気に満ち溢れています。なぜなら、大きな目標に向かい、小さな目標達成を一つずつ積み重ねる行動に対して、会社全体で互いを思いやり認め合い称えることができる環境があるからです。
 ほかに、新家青果にはSDGsに貢献できるおおくの強みや環境があります。私は、変革がもたらすより良い将来を信じて、これらの強みや環境を意識し行動し続けたいと思います。

11 住み続けられるまちづくりを

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナリシップで目標を達成しよう

ホテルニューアワジグループ

ホテル・旅館の再活性を通じた「地域の再生」



◇事業内容

ホテル・旅館業
兵庫県(淡路島・神戸市)、京都府、香川県、岡山県に18のホテルの運営、ヨットハーバー、太陽光・風力発電事業

◇同業他社との違い

経営難・廃業に陥った各地のホテルを再生することにより、その町に人を迎え入れ、地域の雇用を促進、また、地域の食材や観光地としての魅力を発信、地域経済の活性化へ貢献することに努めています。ローカル(地域)の魅力を磨き、世界をおもてなしするをキャッチフレーズに、これからも観光業を通じて持続可能な地域の暮らし・地域経済を支えていきます。

◇基本情報

【所在地】兵庫県洲本市小路谷20番地
【代表者】木下 学
【資本金】2000万円(2023/3時点)
【売上高】163億円(2022年度実績)
【従業員数】1650人(2023/3時点)
【HP】 <https://www.newawaji.com>
【問い合わせ先】
TEL 0799-23-2200
E-Mail jinji@newawaji.com



地産地消での地域の活性化

ここがスゴイ

陸や海の豊かさにも繋がる地産地消の推進



万葉の時代より「御食国」と詠われ、朝廷に海水産物を献上した歴史ある淡路島にルーツを持つホテルニューアワジグループでは、地産地消の食材を積極的に活用し、各ホテルが所在する地域に根ざした安全安心な食材を調達することにより、フードマイレージの削減を行なっています。食品ロス削減の取組みの一例として、淡路島エリアでは特産の玉ねぎや野菜の皮まで丸ごと使ったブイヨンや出汁を取った後の昆布で佃煮を作ったり、市場に出る事のない雑魚を仕入れ、セントラルキッチンで練り物料理へ加工するなどの料理開発にも力を入れています。

また、地元生産者が育てるご当地食材や地元根付いた食文化をメニューに取り入れることで、地域食材・食文化を継承・発信し、料理人が農家や漁港を訪れ意見交換をしながら連携を取り地域活性の一端を担っています。

CO2削減による環境への取組み

ここがスゴイ

クリーンエネルギー・再生可能エネルギーの活用



ホテルニューアワジグループでは全国18箇所で稼働する太陽光発電所における再生可能エネルギー事業(年間13200トン超相当のCO2削減量)をはじめ、風の強い立地を活かしたプラザ淡路島の風力発電所、神戸ベイシェラトンホテルでは自家温泉の排温泉水を活用したヒートポンプによる再生可能エネルギーの活用など、環境・気候変動への取組みを推進しています。

Q&A

SDGsを取組始めたきっかけ

私たちの旅館・ホテル業の仕事は地域の自然と産業に密接な関係があり、共存共栄されています。SDGsという言葉が出る前から、地域の食や歴史、自然に関心を持っていました。

求めるスキル、人物像

あまり難しく考えないでほしいです。なぜなら人には必ず長所と短所があり、その長所を生かせる場所が私たちにあって思っているからです。

仕事のやりがい

お客様から「ありがとう」の言葉を直接頂けることではないでしょうか。お客様は旅館・ホテルに色々な想いを持ってお越しになります。私たちのおもてなしがお客様に届いたときに「ありがとう」のお言葉が頂けるやりがいだと思います。

目指す会社像、今後の事業展開

私たちは、お客様にお喜び頂くことはもちろんのこと、地域と共に進んでいく企業でありたいと思います。今後は地域の魅力をさらに磨き、お客様に提供することで日本だけでなく世界のお客様にお喜びいただけるホテルづくりに努めて参ります。

人事担当者からのメッセージ



人材開発室室長
前田 憲司

ホテルニューアワジは関西の方でしたら「あのCMの会社」というのが一番わかりやすいかもしれません。ホテルニューアワジと言えば旅館のイメージが強いと思いますが、現在、淡路島だけでなく神戸・京都・香川・岡山と18のホテルを運営しております。私たちの想いは創業以来大切に守り続けている「お客様1人1人へのおもてなしの心」です。さらにSDGsを通して、お客様だけでなく地域との繋がりを大切にし活気のある街づくりをおこなっていきたくて思っております。そうすることで、より多くの笑顔に出逢えると信じております。

MESSAGE

先輩社員の声



渚の荘花季
マネージャー
島 翔太

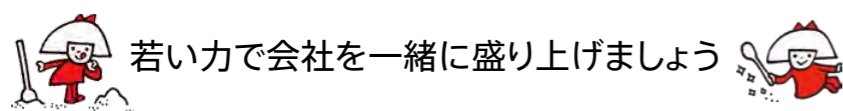
年間約1,200万人の観光客が訪れる淡路島その淡路島で最も大きなホテルがホテルニューアワジです。現在では淡路島のみならず神戸や香川、京都、岡山にもグループホテルを展開しており、「街の灯りを消してはならない」を理念に各地に來られるお客様をおもてなしし地域の活性化に貢献しております。会社が大きくなっても「働きやすい職場」を目指す気持ちは変わらず持ち続けており、誰もが観光産業の最前線で輝くことができるのがこの会社の魅力です。

VOICE



赤穂化成株式会社

「新しい海洋文化の創造」を理念に、さまざまな活動を通して
社会に貢献し未来に向けた挑戦を続けていきます。



2013年「エコレールマーク」認定
2018年 経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定
2020年 兵庫県より「ひょうごオンリーワン企業」に認定
地域を代表する企業として活躍の場を拡げています。



赤穂の天塩イメージキャラクター あましおちゃん

2017年 本社・赤穂工場 太陽光発電システム導入



赤穂化成の事業の源は“ミネラル”です。江戸時代から続く塩づくりの伝統を受け継ぎながら、時代の変化に応じて海水がもつ可能性を独自の着眼で開拓し、確かな製品につなげています。

現在、展開しているのは化成品、機能材、食材、調味、健康の5事業。技術を常に進化させながら、これからの暮らしに産業に貢献する高品質な製品づくりに挑んでいます。

◇基本情報

- 【所在地】兵庫県赤穂市坂越329番地
- 【代表者】池上 良成
- 【資本金】3,000万円
- 【売上高】113億 6,500万円 (AKOグループ 2021年度実績)
- 【従業員数】218人(2023/3時点)
- 【HP】<https://web.ako-kasei.co.jp>
- 【問い合わせ先】
TEL 0791-48-1111(代)
E-Mail webmaster@ako-kasei.co.jp



CO₂ 排出量の少ない天日塩

ここがスゴイ 天日塩を使用することで CO₂ 排出量削減に大きく貢献

赤穂の天塩は、西オーストラリア州の世界自然遺産の中にある広大な塩田(シャークベイ塩田)にて化石燃料をほとんど使用せず、太陽と風の自然エネルギーの力で作られた天日塩を原料塩として使用しています。



シャークベイ塩田

赤穂緞通の継承活動

ここがスゴイ 新たな担い手と共に、伝統文化の継承



赤穂緞通ギャラリー

天候に左右されることの多かった塩づくり。播州赤穂では雨天時の副業として「緞通づくり」が独自に発展。時代と共に織り子も減り、現在では失伝の危機にあります。そこで伝統技術を後世に伝えるため、工房を作り「赤穂緞通」の制作を開始。新たな担い手と共に、伝統文化の継承に努めています。

Q&A

ワークライフバランス

育児休業制度や介護休業制度など導入しています。育児休業制度は取得実績が多く、結婚・出産・育児・家庭環境の変化などに応じて制度を利用しながら、長く働くことができます。

求めるスキル、人物像

何事も前向きに挑戦することができると、ご自身のスキルアップだけでなく周囲にも良い影響をもたらし会社の成長にもつながると考えています。

仕事のやりがい

「塩」や「飲料水」など店頭にある商品を購入された方から、感謝のメッセージを受け取った時にやりがいを感じます。それ以外にも日用品や電子部品などの原料として使われています。

目指す会社像、今後の事業展開

歴史や伝統を守りつつ、飲食事業、医療分野などの新事業への取り組みも行っています。今後もお客様のニーズに合った商品展開を行い、地域・社会に貢献する企業を目指します。

代表者からのメッセージ



代表取締役社長 池上 良成

2019年に赤穂市の塩づくりが「日本第一の塩を産したまち 播州赤穂」として日本遺産に認定され、2026年に塩づくり400年という節目を迎えます。赤穂化成も2021年に50周年を迎え、キッチンカー、移動販売車、天塩スタジオ、飲食店(アマミテラス)などを通して赤穂を盛り上げ、より多くの方々に「ファン」になっていただくために、「おもてなし精神」で全社上げて活動も行っています。未来に向けた挑戦をしたい方、赤穂を盛り上げたい方などお待ちしております。

MESSAGE

先輩社員の声



碓 翔太

私たちの生活に欠かせない調味料「塩」、そんな塩を昔からのやり方を受け継ぎ、製造販売しています。また塩だけでなく、様々な商品を製造販売し幅広い分野で活躍している地元の企業です。製造現場では、先輩社員の方々が気さくに接してくれるので、温かい環境で色々なことを学ぶことができます。これから就職を考えている高校生の皆さん、私たちと一緒に日々成長していきませんか?そんな未来ある若者を私たちは待っています。

VOICE

8 働きがいも
経済成長も

3 すべての人に
健康と福祉を

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

株式会社池内工務店

プロの知識を社会に活かす



創 業: 昭和24年10月
設 立: 昭和35年7月
代 表 者: 代表取締役 池内修
従業員数: 55名
事業内容: 住宅、民間企業、公共施設などの
 総合建築設計施工

◇基本情報
 【所在地】兵庫県明石市西明石南町1丁目5-11
 【代表者】池内修
 【資本金】9,800万円(2023/3時点)
 【売上高】106,000万円(2021年度実績)
 【従業員数】55人(2023/時点)
 【HP】 <https://www.ikeuchi-koumuten.co.jp/>
 【問い合わせ先】
 TEL 078-922-8822

明石駅前での献血活動

ここが
スゴイ 約30年継続する活動



平成6年より29年間、日本赤十字社とともに明石駅前にて、春と秋の年2回献血活動を行っています。
 平成7年の阪神大震災や近年のコロナ禍でも工夫し、継続して実施してきました。

若手社員を対象とした研修

ここが
スゴイ “サービス”について考える建設会社



「建設業はサービス業」という理念のもと、外部から講師を招き、仕事をする上で大切な価値観やチーム運営などを学んでいます。
 普段の業務とは違った角度から仕事について見つめなおすことで、企業としてのサービスの向上を目指しています。

Q&A

SDGsを取組始めたきっかけ

企業として地域の暮らしを支えるために必要な取組だと感じたため。

求める人物像

お客様、また協力業者の担当者や職人など人と接する機会が多いため、コミュニケーション能力は大切です。

仕事のやりがい

工事が完了し、お客様から直接感謝の声をいただいたとき。

目指す会社像

地域から必要とされ、社員一人一人が働く意義を感じられる会社。

代表者からのメッセージ



代表取締役
池内修

建設産業は生命と財産を守る仕事。

社会の安全と安心、そして働きやすさを追求してまいります。

MESSAGE

先輩社員の声



工務部
池内 建太

“プロの知識を社会に活かす”という経営理念のもと、SDGsへの取組を通してさらに地域社会から必要とされる企業を目指します。

VOICE



id ITOH DENKI 伊東電機株式会社

自動搬送に最適なモータとソフトウェア技術で、
持続可能な生産・物流を実現し、社会の基盤を支えます。



物流センター



生産工場



植物工場



駆動源のモーターローラーと
コントローラー

Automation

弊社は、工場や物流センターで物品を運ぶローラコンベヤに欠かせないパーツ(MDR:Motor Driven Roller 商品名パワーモラ)のパイオニアです。世界シェア50%を有しています。MDRとその制御をコア技術に、オリジナルコンセプトのローラコンベヤシステムを開発。社会のインフラを担う物流に貢献するシステムとして、世界へ展開しています。また、これまで培ってきた技術を農業の自動化に応用し、不安定な気候でも「食」の安定生産ができる植物工場システムを実際の栽培で研究しています。

◇基本情報

【所在地】兵庫県加西市朝妻町1146-2
 【代表者】代表取締役社長 伊東 徹弥
 【資本金】9,000万円(2023/3時点)
 【売上高】219億円(2022年3月期 グループ連結)
 【従業員数】380人(2023/3時点)(関係子会社含め510人)
 【HP】<https://www.itohdenki.co.jp>
 【問い合わせ先】
 TEL 0790-47-1225
 E-Mail info@itohdenki.co.jp



伊東電機のローラコンベヤが社会のインフラを支える

ここがスゴイ ネット通販の物流センターで、伊東電機のローラコンベヤシステムが活躍しています。

伊東電機は、工場や物流センターの中で、部品や商品を自動で運ぶシステムを開発しています。人手不足で困っている、生産工場、物流センターの作業を自動化し、止めないように取り組んでいます。ネット通販で翌日に商品が届くのは、伊東電機のローラコンベヤシステムが送り先ごとに商品を選んで運んでいるからです。物流は社会生活に必要なインフラです。これからも社会を止めないシステム開発を行います。



世界の物流を持続可能にするグローバルニッチトップ企業

ここがスゴイ 伊東電機の製品は世界シェア50%

伊東電機は経済産業省から、国内外で高い競争力を持ち、ニッチ分野で適切なマーケティング、独自性の高い製品・サービス開発を行い世界で活躍する企業として「グローバルニッチトップ企業」に選定されました。1998年にアメリカの郵便公社の物流センターで、伊東電機の製品が大量に採用され、その後、ヨーロッパ、アジアに採用が広まりました。世界の物流センター、工場で活躍しています。安全で、人と協働ができる他にはないシステムとして、テレビなど情報メディアにも多く紹介されました。

- 2016年 はばたく中小企業・小規模事業社300社 選定
ひょうごオンリーワン企業 第一号 認定
- 2017年 地域未来牽引企業 選出
- 2018年 知財功労賞 経済産業大臣表彰 受賞
- 2019年 グッドカンパニー大賞 優秀企業賞 受賞
- 2020年 2020年版グローバルニッチトップ企業 選定
- 2023年 健康経営優良法人2023 認定(5回目)



最新植物工場システムを開発、農業のイノベーションで社会貢献

ここがスゴイ 「食の安定生産・安全・安心を追求」
植物工場を研究しています。

伊東電機は、独自の自動化技術とソフトウェア技術によるシステムで、農業を簡単にし、また不安定な気候変動でも「食」の安定生産ができる植物工場システムを研究しています。現在、オリジナルブランドのレタスやイチゴを栽培しています。



Q&A

仕事のやりがい

シンプルなお動きの製品ですが奥が深く、からくり構造や最適な搬送プログラムの追及まで、製品の開発・研究に対するやりがいがあります。社員で開発し制作した製品が、世界で活躍しています。

社風、社内の雰囲気、会社の魅力

チャレンジ精神旺盛な社員が多いです。失敗してもただでは終わらない、成功するまで繰り返しやり続ける精神を持った会社です。世の中にはない独自のモノづくりが行える会社です。

入社すればどのような成長ができるか

実務・専門スキルは当然ですが、何より社会人としての「人間力」に重きを置き、階層別に研修を行っています。色々な場面でのリーダーシップのとれる人に成長できます。

求めるスキル、人物像

- ①ものづくりに興味がある人
- ②自由に発想し積極的に行動ができる人
- ③仲間とコミュニケーションをとりながら、新しいことにチャレンジできる人

代表者からのメッセージ



代表取締役社長
伊東 徹弥

当社は1946年の創業以来、小型モータと制御・ソフトウェア技術を磨いてきました。「自前のモノづくり精神」と「技術力」で世のため人のためになるモノづくりを、先行開発型のチャレンジ精神をもって取り組んでいます。今、社会全体が大きく変革しています。IoT浸透によるデジタル化が加速する中で、ハードウェアだけでなくソフトウェアとの技術革新が求められています。当社はハードとソフトを融合させた新しいイノベーションでサステナブル物流を実現し、社会のインフラを支えてまいります。

MESSAGE

先輩社員の声



アプリ・ソフトウェア開発
主任
的場 東望也

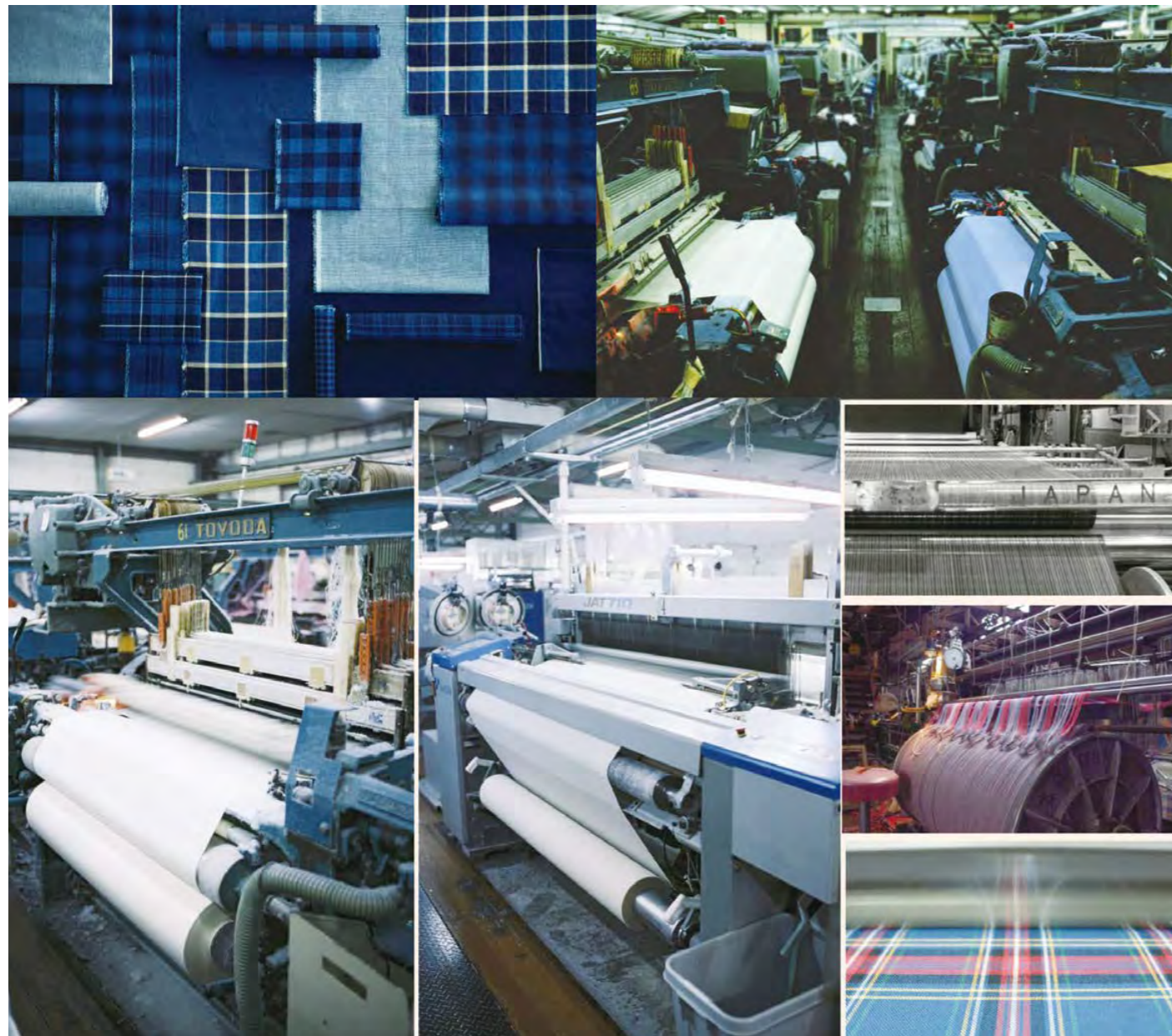
伊東電機は、自動化技術が優れている会社です。僕はソフトウェア開発として、ローラコンベヤに対して最適な搬送プログラムを作成する仕事を行っています。何人かの技術者でチームを組んでプロジェクトに取り組んでいます。物流業界では人手不足が問題になっています。私たちの技術で自動化をもっと普及し、物流業界を良い方向にしていきたいです。

VOICE



植山織物株式会社

江戸時代から続く伝統産業
【播州織】を世界に届ける



【想いを紡ぎ、生活を彩る】

植山グループの歩みは、繊維産業の歴史的な地域の一つである播州産地で始まりました。1948年の創業以来、たくさんの人の想いを紡ぎ、幅広く事業を展開しております。これからも豊かな社会の一助となるように、世界中に彩りを加えていきます。

播州産地は、江戸時代から続く世界的にも稀有な生地産地です。地球環境や労働環境を大事にしてきたからこそ、継続している歴史ある生地産地です。

私たちは技術力や品質、デザインだけでなく、歴史に裏打ちされたストーリーを武器に世界中に播州織を広げていくことを目指しています。

◇基本情報

【所在地】兵庫県多可郡多可町八千代区仕出原681

【代表者】代表取締役 植山 展行

【資本金】3600万円(2023/3月末時点)

【売上高】90,424万円(2022年8月度実績)

【従業員数】37人(2023/3月時点)

【HP】 <https://www.ueyama.net/>

【問い合わせ先】

TEL 095-37-1135

E-Mail contact@ueyama.net



ここが
スゴイ ▶ デッドストック生地を使って
ブランドとのWネームを展開



自ら企画して販売する反面、生産した後にどうしても余ってしまう生地もあります。そこで私たちは大手ファッションブランドと協業し、上質なデッドストック(倉庫で眠っている)生地を使ったプロジェクトを行いました。

生地自体へのこだわりは勿論、タグについても環境に配慮した素材を使用するなど、随所にこだわりが詰まったアイテムを展開しています。また、大量生産はせず、店舗によって入荷する型や数量が異なる、“一期一会”な買い物体験を提供するとともに、シャツが生まれたストーリーを消費者の方に共感していただいています。

服を着用されるお客様に対して、どこでどのように製品が作られているかを説明できる取組みは、実は珍しいことです。

2023年1月、私たちは優れた技術を持った企業や、優れた取組をしている企業として、「次代を担う繊維産業企業100選」として選定されました。日本における繊維産業は、担い手不足や海外生産拠点の増加、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出機会の減少のほか、責任あるサプライチェーン管理やサーキュラーエコノミーの推進などのサステナビリティへの対応が求められるなど、転換期にあります。

私たちはその中で、海外進出と「サステナビリティ」(持続可能性)の分野で高く評価されました。

サステナビリティを意識した自社ブランドは、オーガニックコットンやリサイクルポリエステル、リサイクルウールなどの素材活用は勿論、梱包材などもバイオマス由来のものを使用するなど、工場としての取組みだけでなく、小売事業まで環境を配慮した取組みを行っております。

ここが
スゴイ ▶ 次代を担う繊維産業企業100選



Q&A

SDGsを取組始めたきっかけ、理由

海外展開する中で、「サステナビリティ」は当たり前前の意識としてあり、先んじて様々なことに取り組みしています。

今後の事業展開

- ・事業領域の拡大、深化
- ・企画生産だけでなく、販売の強化

会社の魅力

幅広い事業領域があり、意欲さえあれば、さまざまな事にチャレンジができます。

求めるスキル、人物像

- ・前向きに仕事に取り組み、人間関係を良好に保たれる人
- ・向上心があり、コツコツと努力できる人

代表者からのメッセージ



代表取締役
植山 展行

「播州織」あまり知られていないかもしれませんが、実は海外にも広く販売され、数多くの有名ブランドが使用しています。

兵庫県の代表的な地場産業である「播州織」を、一緒に世界に広げていきましょう。

先輩社員の声



入社23年目 43歳

当社の良いところのひとつは、伝統的な技術と最新の技術を融合させ、持続可能なものづくりを進めていることです。

繊維産業は私たちの生活に密接に関係しているので、当社でつくった商品をテレビや映画で見る機会も多く、やりがいを感じています。

12 つくる責任 つかう責任

2 気候をゼロに

5 ジェンダー平等を 実現しよう

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

9 産業と技術革新の 基盤をつくろう

11 住み続けられる まちづくりを

17 パートナースHIPで 目標を達成しよう

株式会社籠谷

100年後の未来を紡ぐ



100年後の 未来を紡ぐ

当社は食品部門（鶏卵及び鶏卵加工食品の製造）電気部門（電気設備工事の施工管理）ファーム部門（飼料の販売や農場サポート）の3分野の事業に取り組んでいます。

食品部門では、農場～加工食品の生産～販売までを一貫して行えることを強みに、コンビニ様やスーパー様のおにぎりやサンドイッチの具材などを製造、また自社養鶏場でとれる卵を使用したジェラートの製造・販売も行います。電気部門では身近な建物の電気工事や修繕工事を行い、「太陽光発電システム」の提案・施工～検証も手がけています。お客様へ満足と魅力的な商品を提供し、地域社会で愛される企業を目指して、事業を展開しています。

◇基本情報

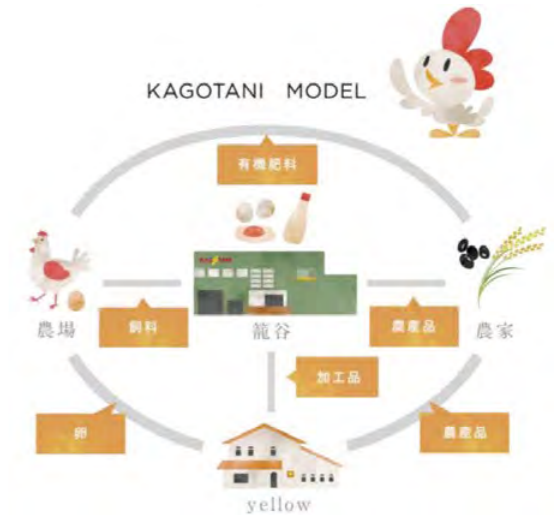
【所在地】兵庫県高砂市荒井町御旅2丁目1番17号
 【代表者】代表取締役社長:小畑 成久
 【資本金】3,000万円(2022年6月時点)
 【売上高】101億7224万円(2022年6月期実績)
 【従業員数】420人(2022年6月時点)
 ※パート・アルバイト含む
 【HP】<https://www.kagonet.co.jp/>
 【問い合わせ先】
 TEL 079-442-2405(代)
 E-Mail nishiyama@kagonet.co.jp



ここが スゴイ

しあわせを循環させる消費モデルの構築

籠谷グループの、養鶏場・工場・店舗(yellow)を中心に、できるだけ無駄(ロス)を出さない、『循環型』の食サイクル構築を目指しています。生産で出る副産物や、食べられるのに商品として販売できないB級品の再利用など、限りある資源を有効に活用し、身近なところから持続可能な社会を目指し、活動を広げています。



ここが スゴイ

女性活躍推進のチームを結成!



“女性の活躍”をキーワードに、女性若手社員でチームを結成。その名もKNC(KagotaniNadeshikoChallenge)。

多様な働き方ができるよう、妊娠・出産・育児に関する休暇の新設や、女性の意見を取り入れた新商品の開発など、より働きやすい職場を目指し、チャレンジを続けています。

Q&A

SDGsを取組始めたきっかけ、理由

もともと、醤油粕を飼料として販売したことから養鶏や食品加工へ事業が広がったこともあり、会社創業時からSDGsの取り組みを行っていました。昨年100周年を迎えた事を機に、さらにSDGsの取り組みを強化すべく、チームを立ち上げ活動しています。

社風、社内の雰囲気、会社の魅力

社内の風通しが良く、入社歴や役職に関係なく意見が通りやすい環境にあります。役員だけが会社の経営方針を決めるのではなく、従業員によるジュニアボード制(疑似役員会)を導入することで、柔軟で斬新な発想を取り入れ、従業員全員が働きやすい環境を目指しています。

仕事のやりがい

よく行くスーパーやコンビニの商品、有名な建物や施設、など普段の生活の中で身近なものに関わる仕事ができます。社内でも、常に良い商品、良い環境で仕事ができる様、社員のアイデアや意見を積極的に吸い上げ、行動に移すことができます。

ワークライフバランス

当社では企業のあるべき姿を追求するうえで、身近な従業員とその家族の夢(笑顔)と幸福が大切だと考えています。そのためにも、仕事と生活の調和ができるよう、2023年3月に「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」の認定を取得しました。

代表者からのメッセージ



代表取締役社長 小畑 成久

MESSAGE

我社は、2021年で創業100年を迎えるに至りました。創業100年を笑顔で迎えられた事は、創業者や諸先輩方々の思いを大切に承継されたものであると感じています。これまでの100年の財産を糧に、次の100年さらには200年に向かって一丸となり、地域社会で愛され、社会と共に永続していきける会社を目指します。その為にも、新しい知識や考えを持つ若い人材は必要不可欠と考えています。貴重な学生生活の中で得た経験は社会に出た時必ず役立ちます。学生の皆様がたくさんの事を吸収し、未来の為に活かせるよう願っております。

先輩社員の声



エッグライフ営業部 飯田 恵理香

VOICE

私は入社後、商品企画・開発を経て現在は営業業務を行っています。商品開発では、何度も検討を重ねた商品が採用されたときのお客様からの感謝の声や、開発に携わった商品が店頭に並び、消費者が手に取って下さる喜びを感じられる事がやりがいに繋がっています。また業務以外にもKNCとして活動しており、より良い職場環境づくりに挑戦しています。学生の皆さんには多くの人と関わりを持ってたくさんの知識と経験を得てほしいです。



シモダフランジ株式会社

地球をつなげる。未来につなげる。フランジでつなげる。

The future created by flanges

つなげる

フランジは、パイプ、弁などをつなぐための部品で、配管を伴う様々なプラントや船舶などに使われています。フランジの品質に欠陥があると、配管を通る流体や気体が漏れ、資源のロスになるばかりでなく、設備・装置の不具合を招いたり、環境や健康などに甚大な被害をもたらす恐れがあります。

シモダフランジは、フランジのスペシャリストとして日本の産業の発展とともに歩んできました。創業当初は船舶用フランジを製造していましたが、時代の要求に応じて新技術開発に取り組み、現在では、石油・化学プラント、火力・原子力発電など多岐に亘る用途の配管部材を供給し、さらには航空・宇宙へと事業分野の拡大を続けています。

◇基本情報

【所在地】兵庫県相市市竜泉町250番地
 【代表者】下田 信治
 【資本金】3,000万円
 【売上高】562,000万円(2023年3月期実績)
 【従業員数】100人(2023年3月)
 【HP】 <https://shimoda-flg.co.jp/>
 【問い合わせ先】
 TEL 0791-22-2211
 E-Mail info@shimoda-flg.co.jp



温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる

ここがスゴイ カarbonニュートラルの実現に向けてチャレンジしています!



2050年、地球の景色は一体どうなっているのでしょうか？
 自動車が当たり前のように空を飛んだり、民間人でも気軽に宇宙旅行を楽しんだり、人間とロボットと友だちになったりしているのでしょうか。

気候変動や大地震に対する備えなど、やるべきことはたくさんありますが、今よりも様々な技術が発達し、きっとより良い世界が広がっているはずですよ。

シモダフランジもその夢の世界の一翼を担えるように様々な分野の製品開発に取り組んでいます。宇宙ステーションや月面基地、カーボンニュートラルを推進する全く新しい発電システム、ロボットや高性能PCの半導体などの分野に向けて、すでにいくつかは具体的なチャレンジが始まっています。シモダフランジは常に前を向き、新しい社会に貢献できるように歩み続けていきます。

私たちのモノづくりの根底にあるのが、「サステリアル(Susterial)」という考え方。サステリアルとは、「持続する」を意味する「サステナブル(Sustainable)」と「金属材料」を意味する「マテリアル(Material)」を組み合わせた造語です。

シモダフランジはこの考え方に基づき、WAAM式金属3Dプリンターを導入しました。3Dプリンターは、完成品に近い状態で成形することができるため、材料ロスが少なく、短納期で製造が可能なのです。

この導入は、シモダフランジが取り組むSDGs達成へ推進することにもなります。また、このプリンターは今まで困難だった複雑な金属の成形を可能にしました。

シモダフランジは、最新のロボットを武器に未来に向かってまい進していきます。

大切な素材をムダにしない

ここがスゴイ サステリアルなモノづくり (Susterial=「Sustainable+Material」)



Q&A

SDGsを取り組み始めた理由は?

当社の事業は石炭火力発電、石炭掘削関連に大きく依存していました。世界が脱炭素～カーボンニュートラルに向かう中、当社も事業転換を進めてきました。この活動はSDGsと照らし合わせフランジの1つの機能である「つなげる」をキーワードとして取り組んでいます。

目指す会社像を教えてください。

当社の既存技術 x 技術革新(新技術)によってサステナブルなモノづくりを進め、カーボンニュートラルに貢献していきます。

仕事のやりがいを教えてください。

当社の製品は主に「エネルギー・環境・社会インフラ」関連で使用されています。また、昨今は半導体製造装置、ロケット部品も製造しています。人々の生活を豊かにし、持続可能な社計形成を実現するために努力しています。

求める人物像を教えてください。

当社は、常に前を向き新しい取り組みにチャレンジしています。求めるのは、私たちとともに、常に前を向き、様々なことにもチャレンジできるモチベーションを持つ人を歓迎します。

代表者からのメッセージ



社長 下田 信治



MESSAGE

先輩社員の声



入社7年目 杉本

シモダフランジの製品は、各種発電プラントや輸送船など幅広い分野のインフラ設備に使用されており、私たちの生活を豊かにする歯車の1つです。製品の製造、販売を通じて、社会貢献をすることができます。

また、当社の事業はエネルギー産業との関連が強く、次世代エネルギー発電設備の製品を製造していくことで、世界のSDGs達成の一翼を担えると思っています。SDGsについては、本業を通じた取り組み以外にも、太陽光発電の設置やリサイクル製品の活用、EVフォークリフトの利用など小さな活動も積極的に取り組んでいます。

VOICE

5 ジェンダー平等を実現しよう

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

12 つくる責任つかう責任

株式会社田井鐵工

事業を通じて社会の発展に貢献する



BANSHUから世界へ
SINCE 1918



当社は創業時、織物関連の事業から始まり、現在は自動車用電装部品・水中ポンプ事業へと変化してまいりました。2018年4月に創業100年を迎える事ができたのもお客様に信頼され地域社会に愛されてきたがゆえに今日があると思っております。

これからもTAI GROUPは、コーポレートスローガン「BANSHUから世界へ」の理念の下、地域社会に根付いた企業活動を通じ、地域社会の発展に寄与する為、製造技術を希求し、顧客及び社会に貢献し、愛されるように取り組んでまいります。

そして、これからの100年も地域の皆さまから、働く場を提供する企業として親しみと信頼をされるよう努めてまいります。

◇基本情報

【所在地】兵庫県西脇市上野323-1

【代表者】田井 三治

【資本金】1,000万円 (2023/3月時点)

【売上高】約1,000,000万円(2022年度実績)

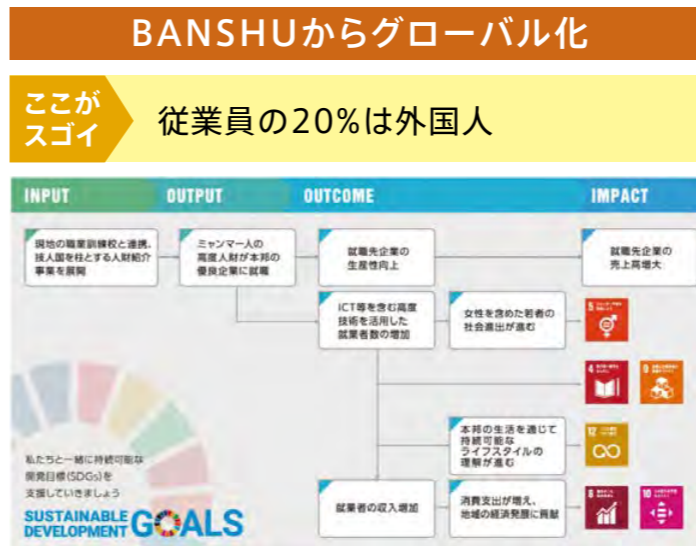
【従業員数】430人(2023/3月末時点)

【HP】 <https://tainexas.jp/>

【問い合わせ先】

TEL 0795-22-2931

E-Mail yoshida-Tetsuya@tainexas.jp



当社の従業員の20%は外国人です(2023年3月末時点)。毎年、海外人財を積極的に雇用しBANSHUから世界へ人財のグローバル化を進めることで、SDGsに貢献していると考えております。また、女性の会社員や不安定な雇用状態にある海外からの会社員など、全ての人財の権利を保護し、安全・安心な職場環境を促進しております。当社の考えとしては、外国人材の育成・雇用を通じて価値を創造し、あらゆる人財の活躍の場を広げていると考えます。また、人材紹介ビジネスをご利用、採用いただくことにより、お客様ともSDGs活動に寄与できます。

ここがスゴイ 従業員の42%は女性従業員

当社の従業員の42%は女性従業員です(2023年3月末時点)。当社は働くお母さん、働く女性を応援しており働きやすい環境を構築できるよう西脇工場をモデルケースに考え、日々業務改善しております。例えば、女性でも物が容易に持ち運べるようにハンドリフトやAGVを積極的に導入し、女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化しております。

その他、女性社員が結婚・出産後に働きやすい環境づくりを課題のひとつとして掲げ、女性リーダーの育成にも取り組んでおります。



Q&A

【社風、社内の雰囲気、会社の魅力】
弊社は、社員同士のコミュニケーションが活発で、若手が活躍できる職場だと考えます。また、生き生きと働いている人が多く、働いている社員のストレスが溜まりにくく、福利厚生も充実している会社です。

【SDGsを取組始めたきっかけ、理由】
SDGsの目標は、さまざまな社会課題の解決です。弊社ならではの発想やイノベーションによって、社会課題が解決できるのでは?外国人材との関わりがある当社なら対応可能なのでは?と考えたのが始まりです。

【求めるスキル、人物像】

- ・コミュニケーション能力の高い方
- ・自立心の高い方
- ・柔軟性の高い方
- ・素直で真面目、明るい人柄

【仕事のやりがい】
仕事のやりがいは、常に感じることができます。まず、数値化された個人の目標が管理されており(KGI,KPI)あり、共に戦ってくれる仲間がいること。その仲間と共に目標を達成できた時にはやりがいを感じます。

【代表者からのメッセージ】

代表取締役 田井 三治

新しいビジネスは、自分のことだけでなく、社会で暮らす人々のことや、従業員のことを考えることで生まれることがあります。また、SDGsの取り組みは、社長だけがやる気になっても意味がないと考えています。社員全員が自主的に、継続的にアクションできるよう、ビジネスを展開しながら無理なく取り組めるよう考えております。お金のためだけでなく、「人に役立つこと」を考え、BANSHU to The WORLDを合言葉に「世の中になくてはならない企業」を目指し取り組んでまいります。

【先輩社員の声】

経営企画室 リーダー 佐藤 美和子

10年前、私が学生時代に「社会貢献」という言葉をよく耳にするようになりました。社会人になってからもその言葉が心に残っていたものの、抽象的で具体的に実行できませんでした。しかし、SDGsをきっかけに、仕事の中で私の目標が持てるようになりました。現在は弊社で働く外国人が日本人と平等に働けるよう支援したり、ミャンマーで仕事のない優秀な大学生の就職先を見つけたりとSDGsに貢献できていると思います。一人の行動は小さい貢献かもしれませんが、その輪が2030年に向け弊社の社員から少しずつ広がればいいと強く願っています。

5 ジェンダー平等を実現しよう

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

12 つくる責任つかう責任

3 すべての人に健康と福祉を

株式会社阪技

やりがい・働きやすさへの環境づくりから
社員のウェルビーイング・イノベーションの創出を目指す!



この袋は100%植物由来で海洋における生分解性を有する
カーボン分解性ポリマー「Green Planet」を使用しています。
Green Planet™は、循環型社会の実現、海洋汚染問題解決に貢献します。

◇事業内容

- ・エネルギーやクーラーに関わる仕事
- ・近年、水素やアンモニアを使った発電や、風力発電の送電における環境に優しい新たな技術に挑戦中

◇想いをかなえる技術力

- ・生活に欠かせない電気や空調設備など「あったらいいな」ではなく「ないと困る」を支えている会社
- ・設計から生産技術、品質技術、システム開発まで、ものづくりのはじめからおわりまでを技術力でサポートしている
- ・歴史ある技術とAIなどの次世代情報技術を融合し、想いをかなえる技術力でお客様のご要望に応える

◇基本情報

【所在地】兵庫県高砂市荒井町東本町19-23

【代表者】代表取締役社長 後藤 純次

【資本金】1,000万円

【売上高】16億円(2022年度実績)

【従業員数】235人

【HP】 <https://www.hangi.co.jp/>

【問い合わせ先】
TEL 079-443-4405

社内保育所の設立・運営

ここがスゴイ 子育て中の従業員が安心して働ける!

・女性が多い阪技だからこそ、子育て中の従業員が子供のそばで働けるようにしたい、という想いで、2016年に社内保育所を設立しました。社員を育て、さらにはお子さんを育てる環境を、と考えています。

・ただ仕事中に預ける場所ではなく子どもたちも成長できる保育所にするため、食育や英語教育などの保育内容も整えています。社員のお子さんを孫のように育てたい、という社長の想いが込められています。

・新卒入社者に対し、約5~7ヵ月間、一人ひとりに合わせた研修を通して、良いところを見つけて伸ばす育成を行っています。

・配属後にも教育体制を充実させていることで、技術系の会社ですが、今では社員の6割が女性です。そのうち7割がエンジニアとして活躍しています。

・社員全体のうち8割が文系で、未経験から学び活躍しています。

・性別、文理を問わず活躍できる、業界のイメージをくつがえした会社です。

教育体制の充実

ここがスゴイ 性別・文理を問わず活躍できる!

Q&A

SDGsを取組始めたきっかけ、理由

社長がこれまで描き叶えてきた夢が実はSDGsにつながっていたんです。2021年に当社のSDGs活動を広めようとSDGsの取り組み例をイラストで表した袋を作成しています。(左ページ左側)海水や土の中で数か月かけて溶ける素材で作られており、当社はその素材の製造の一部に携わっています。

仕事のやりがい

一人ひとりの良いところを伸ばすことで、社員がやりがいを感じながら仕事をすることができます。左ページのイラスト付きの写真では、イラストが得意な社員がデザインの仕事をして活躍しています。やりがいと働きやすさがウェルビーイング、イノベーションの創出へとつながっています。

ワークライフバランス

働く時間や場所を問わない柔軟な働き方、をコンセプトにイノベーションオフィスを神戸三宮と沖繩那覇に設置しています。また、若い時こそプライベートや自己研鑽に時間を取ってほしいとの思いから、タイムマネジメント能力を養成し、新卒社員に対し入社2年間残業禁止制度を設けています。

目指す会社像、今後の事業展開

新しい社会への変化に対応する技術を創造し続けます。例えば、再生可能エネルギー、水素エネルギー活用への挑戦など、社会インフラを支える新しい技術に取り組んでいます。創業以来の歴史ある技術力とAIなどの次世代情報技術を融合させ、イノベーションを創出する人材を育てています。

代表者からのメッセージ

MESSAGE

代表取締役社長 後藤

前途有望なみなさんに、常に持っているほしいことをお伝えしたいと思います。

- ・素直であること
- ・好奇心旺盛であること
- ・あきらめないこと(やり抜く力)
- ・心配りができること
- ・人のために努力ができること
- ・日々感謝の気持ちを持つこと
- ・夢を持ち、目標を高く設定することができること

ぜひ参考にしてみてください。

先輩社員の声

VOICE

広報担当 鏡田

当社は、社員一人ひとりの良いところを見つけて伸ばす教育が特徴です。私は当社に入社して、未経験ですが希望した分野に携わっています。段階的に業務を学ぶことができ、成長できていると実感しています。皆さんは年齢を重ねるにつれて、文理選択や将来したいことなど、選択肢の幅を狭めていくことが多くなりますが、自分の気づいていない可能性もあるかもしれません。文理関係なく、未経験でも活躍できる会社が高砂にあることを、皆さんが就職活動の際に少しでも思い出していただければと思います。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

株式会社二川工業製作所

信頼と責任あるモノづくり



【設立】 1943年4月18日

【企業理念】 「すべてのお客様の役に立つ」相互信頼・お客様のニーズに応える・付加価値の高いサービスの創造

【事業内容】 製造業（建設機械装置部品）再生可能エネルギー事業、ホテル事業他

【その他拠点】 国内4拠点（加古郡播磨町、神戸市西区等）海外1拠点（中国・徐州市）

【取引先】 キャタピラー・ジャパコ合同会社/キャタピラー株式会社 株式会社神戸製鋼所/川崎重工株式会社

◇基本情報

【所在地】 兵庫県加古川市平岡町二俣249-1

【代表者】 代表取締役 二川 昌也

【資本金】 1000万円(2023/4時点)

【売上高】 106億9000万円(2022年度実績)

【従業員数】 283人(2023/4時点)

【HP】 <https://www.futagawa.co.jp/>

【問い合わせ先】 TEL 078-335-7301

具体的な活動内容

ここがスゴイ 水上太陽光発電事業への参入



- 1.なぜ始めたのか**
地上太陽光発電に比べ工事に伴う土地造成や森林伐採、整地などが少なく済み、地球環境に優しいクリーンなエネルギー事業である為です。
- 2.どのような効果が出ているのか**
池の水の蒸発防止や藻類の繁殖軽減が促され、環境へメリットが出ています。
- 3.今後の目標**
地球環境と地域社会に貢献できる事業展開を積極的に増やしていきたい。

ここがスゴイ 納入荷姿変更(木箱⇒鉄パレット)



- 1.なぜ始めたのか**
先方より支給される部品の梱包荷姿が木製パレットの為、木屑の処理が必要となっている。環境への取り組みとして木屑の廃棄量を削減するために依頼しました。
- 2.どのような効果が出ているのか**
木製パレットから鉄パレットへ変更することで木屑の廃棄量の削減、木製パレット解体の手間、処分費用の削減。

Q&A

社風、社内の雰囲気、会社の魅力
部署ごとに若干異なりますがフレンドリーな方が多いです。意見交換が頻繁に行われており、風通しが良い社内風土だと思います。

仕事のやりがい
当社は製造業でありながら様々な事業展開をしています。人によっては様々なことが経験できるので、自分自身の成長を実感でき、やりがいに繋がると 생각합니다。

求めるスキル、人物像
真面目で誠実な方を求めています。先輩・上司から言われたことを素直に受け止め、ひたむきに頑張れる人が当社でも多く活躍している印象です。

ワークライフバランス
有給取得率(約60%)、残業時間も部署により異なりますが、月20時間程度とワークライフバランスもとれます。また、休日勤務も基本的にはなく、働きやすい環境です。

代表者からのメッセージ

代表取締役 二川 昌也

今後は、次世代を見据えた新たなビジネスの開拓にも柔軟な姿勢で積極的に取り組み、挑戦し続けます。すべての「人」の暮らしを支え、社会貢献の一翼を担う企業としてより一層の発展を目指します。

私たちフタガワグループは全従業員の思いをひとつにし、信頼を寄せてくださるお客様とともに、いかに未来へ貢献できるかを常に考え、豊かな創造力で新しい未来をクリエイティブしていきます。

先輩社員の声

サステナビリティ推進部 企画課 課長 茨木 翔平

当社は、製造業でありながら、再エネ事業やリユース事業等様々な事業を展開していて、各事業は環境への配慮を意識しています。

また、民家と近い所に工場があることから、地域社会との共存を考えていく事が大切と考えますので、今後力を入れていきたいです。

互いに信頼を持てるよう引き続き地域活動と連携し活動していきたいと思っています。

あ と が き

兵庫県は、その多彩な産業構成から「日本の縮図」としばしば形容され、「モノづくり」に秀でた技術を持つ中小企業群、優れた大学や研究機関も多く、これらを核に、先端医療・次世代エネルギーなど、日本のイノベーションを牽引している地域です。さらに、歴史的遺構や情緒ある自然、世界に誇れる食など魅力あふれる観光・地域資源を有しており、「多様性」に富んだ高いポテンシャルは、新たな活力を生み出す大きなアドバンテージです。

一方、進学や就職を主因として、20代の若者を中心に人口の転出超過が続いており、若い世代の「地元離れ」は地域社会の存続にとって深刻な課題となっています。

地域の若者に対して、兵庫の魅力をしっかりと発信し、地域や企業への理解を深めることで、少しでも多くの若者が「ずっと地元で暮らしたい」「将来は地元に戻ってきたい」と思えるよう“ひょうご愛”“地域愛”を育むことが、その解決策の第一歩ではないでしょうか。

そのような想いから、兵庫県の経済人の代表らで結成された神戸経済同友会では、「SDGs」をキーワードとして地域企業の優れた取組を知っていただくため、「中高生向けSDGsガイドブック」の制作を提言し、地域のSDGs推進を担う官民連携プラットフォームである「ひょうご SDGs Hub」の実証事業として発刊するに至りました。

今後、2025年には大阪・関西万博、その先には神戸空港の国際化が控えるなど、いやが上にも世界からの注目が高まる中で、ひょうご・神戸の魅力を余すことなく発信し、国内外に存在感を示していかなばなりません。「SDGs」はこうした兵庫県の高いポテンシャルを世界基準で語り伝えるための共通言語であり、それらの語り手として、次世代を担う若者の参画や、そのアイデアを地域づくりに反映させることが、地域の魅力向上に不可欠であると考えています。

このガイドブックを通じて、次世代のみなさんが「地元で輝く企業」を知っていただくことはもとより、それらの取組みへの理解を深め、ともにSDGsに取組み、ひょうご・神戸の持続的発展に挑戦するきっかけとなれば幸いです。

最後に、本ガイドブック作成にご尽力いただきました参加企業、兵庫県の皆さまをはじめ、ご関係者の方々に心より感謝を申し上げます。

2023年5月

一般社団法人 神戸経済同友会
代表幹事 服部 博明



本事業は、ひょうごSDGs Hubの実証事業として取り組んでいます

— ひょうごSDGs Hubとは —

将来にわたり持続可能な地域を実現するためには、兵庫が持つ多様性を活かし、あらゆる主体がパートナーシップを深めながら「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けた取組を進めていくことが不可欠です。このため、県内の企業や団体など、多様な主体が連携し、「オール兵庫」で社会的課題の解決と地域活性化の両立を図る公民連携組織として、「ひょうごSDGs Hub」を設置しています。

本事業に関するお問い合わせ



但馬銀行 総務部

〒668-8650 豊岡市千代田町1-5

TEL: 0796-24-2117

受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除きます)



みなと銀行 経営企画部

〒651-0193 神戸市中央区三宮町2-1-1

TEL: 078-333-3224

受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除きます)

